

意見交換 (次年度に向けて)



1 「北海道Society5.0」の実現に向けた普及啓発

北海道Society5.0推進セミナー



日 時：令和3年7月14日（水）13:00～15:00
方 法：Web会議ツールを介した動画配信
視聴回数：209名（ライブ）、1,210回（総視聴回数）
講 演 者：北大山本教授、総務省、岩見沢市、富良野市、
シスコ、TIS北海道、道経連、JC北海道、道

SoftBank World 2021



日 時：令和3年9月15（水）～17日（金）
方 法：オンラインイベント（動画配信）
視聴回数：当日同時視聴 約8,000人、
SoftBank社宮川社長、広島県湯崎知事、北海道鈴木
知事の三者による対談形式

2021年デジタルの日 パネル展

- 令和3年10月1日、4日の二日間実施。
- 道庁1階で10月10,11日の「デジタル日」を周知するための広報活動を実施。



**2021年10月10日-11日は
2021年デジタルの日です。**

デジタルの日は、デジタルに触れ、
使い方や楽しみ方を見つける日。
年に一度の、デジタルの記念日です。
実は、今年初めて創設されました。

テーマもあります。#デジタルを贈ろうです。
たとえば、祖父母に、タブレット端末を贈る。
子どもと、プログラミング教室に行ってみる。
仕事なら、業務のデジタル化にチャレンジしてみる。

馴染みのないデジタルを知り、触れる機会を、
あなたの周りの大切な人と作りませんか。
もっと楽しいかも。より便利になるかも。

そんなみんなのアクションが、
日本の「人に優しいデジタル社会」を進めていく
きっかけになることを願っています。

出典 デジタルの日公式ホームページ
<https://digital-days.digital.go.jp>

デジタル庁からの
お知らせ



デジタルの日

10月10日-11日

パネル展の様子 (10/1,4)



北海道オープンデータハッカソン

- オープンデータに関する知識や普及啓発を図ることなどを目的にオープンデータを活用したアイデアソン・ハッカソンのイベントを10月9日、10日に開催。

共催：北海道オープンデータ推進協議会×北海道

北海道 オープンデータ ハッカソン

参加料
無料

※オープンデータとは、国の機関が保有するデータで、誰でも自由に利用可能なデータを指します。

2021年10月9日(土)・10日(日)
10:00~16:30 10:00~14:30

テーマ 北海道の魅力価値創造

北海道内のオープンデータを活用して、コロナ収束後の北海道のさらなる魅力・価値向上に資するアイデアを参加者同士での出し合い、チームを作って、サービスやアプリケーションの開発を行います。

9月25日(土) 13:30~15:00に勉強会を開催
お申込み 9/23(木)まで
<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sa/et/taisen/sa>
<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sa/et/taisen/sa>

参加対象 1. 民間企業の方
2. 学生の方
3. 自営/フリーランスなど
関心のある方はどなたでも参加できます。

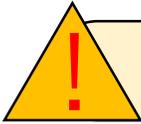
詳細について

イベントの詳細については、北海道のホームページ
<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sa/et/taisen/sa>



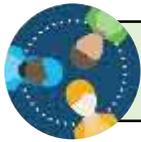
2 DX人材育成プログラム実証研究の概要

事業主体	(株) ベネッセコーポレーション																		
実証期間	令和3年5月10日(月)～7月31日(土)																		
対象	自治体職員(1自治体あたり50名上限) ※道は公募で50名を募集																		
参加自治体 (12団体)	北海道DX推進課 山梨県DX推進室 鹿児島県デジタル推進課デジタル戦略班 神奈川県横須賀市人事課 埼玉県越谷市行政デジタル推進課	岩手県科学・情報政策室 香川県人事・行革課 世田谷区経営改革・官民連携担当課 広島県広島市情報政策課 三重県亀山市総務課情報統計グループ			神奈川県デジタル戦略本部室 岡山県デジタル推進課 神奈川県相模原市DX推進課 埼玉県さいたま市デジタル改革推進部														
利用ツール	Udemy for Business																		
事業概要	ベネッセが実施する全国の自治体を対象としたDX人材育成の実証研究に参加し、オンライン学習ツールでの学びを通じて職員のITリテラシーの向上や知識習得・スキルアップが果たされるのか、その効果について検証する。 ※職員の自己研鑽活動に位置付けて検証する(道の研修事業ではない。)																		
スケジュール	<table border="1"><thead><tr><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th></tr></thead><tbody><tr><td>Aコース 自治体職員 第1期</td><td>管理者 説明会</td><td>直前 開始 説明会</td><td colspan="2">受講期間 5月10日～7月31日</td><td>報告会</td><td></td></tr></tbody></table>						4月	5月	6月	7月	8月	9月	Aコース 自治体職員 第1期	管理者 説明会	直前 開始 説明会	受講期間 5月10日～7月31日		報告会	
4月	5月	6月	7月	8月	9月														
Aコース 自治体職員 第1期	管理者 説明会	直前 開始 説明会	受講期間 5月10日～7月31日		報告会														



留意事項

- ✓ 実証研究のため、勤務時間外での自己研鑽活動として整理
- ✓ PCやインターネット環境は受講者個人で準備すること



受講者

※希望者**217**名から無作為抽出で**50**名（本庁:25名、それ以外:25名）を選考

受講者			
総務	3名	水林	4名
総政	5名	建設	3名
環生	1名	出納	1名
保福	1名	出先	2名
経済	3名	教育	4名
農政	1名		

受講者			
空知	2名	上川	2名
石狩	2名	留萌	1名
後志	1名	宗谷	1名
胆振	2名	釧路	2名
日高	1名	十勝	2名
渡島	3名	釧路	1名
檜山	1名	根室	1名

実証研究でのパッケージ

Udemy for Business (日英 約5,500講座)

業務にデジタルを取り入れる力

業務や手続きの効率化

データを活用する力

EBPM(エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング証拠に基づく政策立案)

DX推進

- IT用語に親しむ
- 背景と全体像を知る
- プロジェクトを企画する
- プロジェクトを実行・推進する
- テーマ知識を深める
 - AI・機械学習・RPA
 - クラウド・IoT
 - セキュリティ

データ活用

- データの扱い方をおさらい
- データ集計 (Excel)
- データで問題解決を行う
- データで組織を動かす
- 可視化ツールを使いこなす
 - Power BI、Tableau
- データサイエンス・機械学習
 - R言語・SQL・Python

ソフトスキル

- 資料作成・プレゼン
- 業務効率化
- コミュニケーション
- 思考力・企画力
- リーダーシップ・チームマネジメント
- 会計・財務
- 英語・TOEIC
- マーケティング・PR

実施結果

3 か月間の振り返り

- ◆ 受講場所・時間を選ばず通勤時間等の隙間時間で学べる点が好評であった一方で集中力の維持や講座数が多く良い講座が分かりにくいといった点が多く見られた。
- ◆ 受講者の多かったものとしては、Excelやパワーポイントなどのオフィス関連といった実務に関連したものが中心であった。
- ◆ 運営では、やる人とやらない人が真っ二つに分かれたため、全員に受講させることや期限を設けず行うことは難しいと感じたところ。コースを設けて受講させる等の工夫が必要。
- ◆ 希望者からの抽選ではあったが、やらない人についてはアカウントの登録さえしなかった者もいる。
- ◆ 催促は、自己研鑽扱いで実証事業ということもあり、強く行わなかったが事業とする場合はケアする必要がある。
- ◆ 事業化に向けた課題としては、サービス上の取扱いや契約（アカウント）体系の整理、事業効果の設定などクリアにしなければならない点が多くみられる。

登録者数が多い講座TOP3 (必須講座を除く)	1	「1日で学べるエクセルの教科書マスターコース」
	2	「ITトレンド丸わかり～デジタルトランスフォーメーション時代の必須知識～」
	3	「Excel VBA（超入門）エクセルが自動で仕事する！マクロの魔法 文系・非IT職もできるプログラミング」

受講者の感想

- オンライン中心での業務に変わりつつある中で課題に感じていたオンラインでのコミュニケーションの取り方など興味があったものを気軽に学べた所がよかった。
- 通勤時間、昼休み、就寝前など隙間時間で気軽に受講できたところがよかった。（スマホアプリも使用）
- まとまった時間が取りにくいので気軽にできる点ありがたい。
- 地方勤務だと研修を受ける機会が少なくなるためオンラインツールの活用は有効だと感じた。
- 業務に活用したいと思っていたところを学ぶことが出来たので良かった。
- オフラインでも活用できるところがよかった。
- 料金が高い点やどの程度のスキルアップが可能か判断できない点が有償に踏み切るためのハードル。
- 講座が多く自分で良し悪しの判断が難しかった。
- 気になった点を繰り返し確認することが出来るため、理解不足や聞き逃しが発生しにくいところがよかった。
- 受講者側で実践する意識を持てばより効果的だと思った。
- 動画構成が体系的に整理されており、セクションで区切られているため、部分的に繰り返し視聴しやすかった。この辺りは無償の学習動画とは異なると思う。

3 R3年度中に着手する予定の取組

1

IoT実装など道内の先進事例を見える化（企業・自治体）

- DX事例の発掘調査を実施。取り組む上での苦労した点や推進体制、軌道に乗せたポイント、キーマンへのインタビューを行い、取りまとめ事例集として道のホームページに公開していく。
- 道庁内の関係部局はもちろん、道内市町村、国、道内企業へ依頼する予定。

2

デジタル技術で解決したい課題の発掘（自治体）

- 地域が抱える大小様々な課題をデジタル技術とマッチングさせ解決するための支援を行うため、デジタル技術で解決したい課題の発掘をお願い。（継続的なものでも問題なし）
- 道の補助事業等の活用や応援団会議HPを通じた道内外企業への周知を行ってきたが、次年度はデジタル人材育成・確保の手段として実践型の学習プログラムを企画しており、そこにも活用したい。

4 メンバーからの情報提供

1 一般社団法人北海道IT推進協会 入澤会長
「DX学校」について

2 北見市 松本係長
「戦略的基盤技術高度化・連携支援事業」
(経産省事業)

3 北海道大学 重田准教授
「オープンコースウェア」の使い方について

5 意見交換等

最後のワーキンググループになりますので、下記の観点からご発言ください。

- **道の取組やメンバーの皆様からの情報共有について質疑**
 - (一社)北海道IT推進協会「DX学校」
 - 北見市「戦略的基盤技術高度化・連携支援事業」(経産省事業)
 - 北海道大学重田准教授「オープンコースウェアの使い方」
- **その他、メンバーからご意見やご感想などのご発言**
 - 継続的に議論すべき事項や次年度の検討事項について
 - WGに参加した感想など

参考：今後の検討課題（想定）

目指す人材

高度なスキル・知識を
持った作る人材

人材別の学習コース

- ・
- ・
- ・
- ・

作る人材と使える人材
を繋ぐ人材

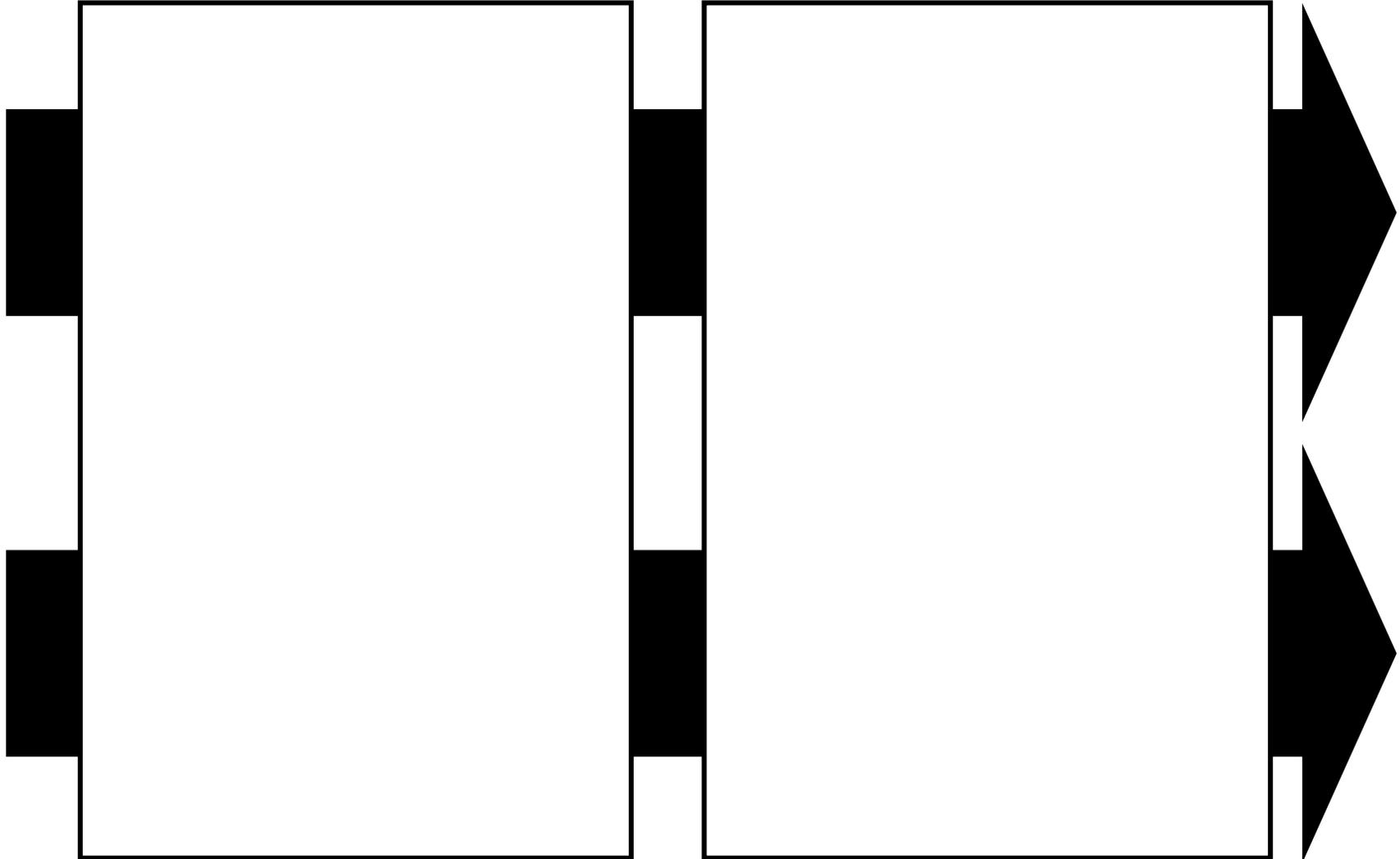
人材別の学習コース

- ・
- ・
- ・
- ・

学習モデルコース

座学を中心とした学習

得た知識等を活用した実践的学習



各種デジタル人材